

# はまゆう 希望の風だより



社会福祉法人 はまゆう福祉会  
〒807-0046  
福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11  
電話：093-201-6151 FAX：093-201-8151  
E-mail：hamayu-honbu@nifty.com  
HP：http://www.hamayu-mizumaki.com/  
第2号(通巻29号) 2019年11月1日

～未来へ続け  
希望の風はまゆう～

主な内容

- ★はまゆうサポートセンター・家族会のトピックス..... 1
- ★多機能型施設の使い方..... 2
- ★地域活動支援センター(外出訓練)、家族会(第3回福精連大会)..... 3
- ★保護者の声、利用者さんの作品、今後の行事内容..... 4



開会式



試合に熱中

三位入賞  
おめでとう!!

去る9月21日、福岡県民体育大会が田川市総合体育館で行われ、選手・役員・応援者で参加しました。日頃から練習・練習試合は行っているもの、いざ試合になるとかなりの緊張があり、日頃の練習の成果が出せるのが心配でした。一試合目はかなりの強豪と対戦し、なかなか我々の力を出すことが出来ずに試合が終わりました。二試合目はいつも練習試合を行なっているところと対戦し、フルセットの末、勝つことが出来ました。結果として、三位になり、銅メダルはありませんでしたが、賞状をもらうことが出来ました。選手・役員・応援者が一体となった結果だろうと思っています。今後も毎週練習をしながら、余暇の過ごし方、コミュニケーション力アップ等を培ってみたいと思っています。

### 福岡県民体育大会に参加して



家族会総会



みどりの会との交流会



家族による家族学習会 第1回

去る5月25日、はまゆう家族会総会を開催し、本年度の活動のスタートをきりました。第一部は、前年度事業報告と今年度事業計画、決算・予算報告等を行い、運営委員の改選に伴い前任者は全員留任、新たに柴田佳代子さんが任命されました。第二部は、福岡市の家族会「すずめのお宿」の白石雄二様と隅谷和生様を囲んでの交流懇談会を行いました。6月22日には、小倉地域家族会みどりの会の皆さんをはまゆうサポートセンターに迎えて交流会を行い、石田センター長の案内で施設内を見学していただき、利用者さんが収穫したジャガイモを食べながら和やかに懇談を行いました。この二つの交流を通じて、精神障がい者家族の思いは、皆同じで、初めてでも相通じるものがあると感じました。私達が重点活動にしている「家族による家族学習会」も8月から開始しました。今年は、参加申込が多く、10名の参加者で始めています。行政の方や職員の皆さんはじめオプザーバー参加も多く、充実した学習会になっています。

### 令和元年度の活動も家族会総会を機に本格始動

### 保護者の声：..少しずつ成長してきた息子の姿をうれしく思うこの頃

息子は、18歳の時に事故に遭い、大変困難な日々を10年程過ごしてきました。生活が送れるようになり、リハビリや民間療法等の施術を繰り返してはきましたが、幸いにして回復の兆しが表れました。その頃、福祉作業所の存在を知り、いろいろな所に見学に行きました。その情報が関係者から入ったのか、「はまゆうサポートセンター」から電話があり、見学や体験をし、正式利用することになりました。早いもので10年の施設利用となります。1年半前、知人の紹介で、ギターを習うことになり、一度も辞めるといこともなく、少しずつ上手になりました。8月31日、八幡西区にある介護施設でコンサートがあり、息子は、かなりの緊張でしたが最後まで演奏することができました。本人のホットした表情から、達成感・満足感がうかがえました。これからも継続できればと思っております。最近では、自分の考えを言えるようになり、以前に比べて、顔の表情も和らぎ笑顔もあり、成長してきたと感じております。親子関係も、第三者が関わることにより、意思の疎通が上手くいくようになりました。長い日々を振り返りながら、親として、互いに成長できたことを嬉しく思っています。

### 利用者さんの俳句：..でりけーと健さん作

動くもの 皆ゆっくと 冬の朝  
やき芋の 笛が昭和へ 引き戻す  
秋祭り 幼なごころに 戻りけり  
小春日の 犬の欠伸を 見逃さず

情景が思い浮かぶ  
すばらしい作品です!  
ありがとう。



ギターの音色・・・  
皆さんのところに届いた  
ことでしょう!!



### 今後の行事案内

- 【はまゆうバスハイク】  
\*日時：11月15日(金)  
\*場所：マリナーワールド(福岡市)
- 【はまゆう福祉会クリスマス大会】  
\*日時：12月13日(金)  
\*場所：いきいきホール(水巻町)
- 【はまゆう後援会餅つき大会】  
\*日時：令和2年1月17日(金)  
\*場所：はまゆうサポートセンター
- 【第8回はまゆう講演の集い】  
\*日時：令和2年2月15日(土)  
\*場所：未定

家族電話相談(福岡県委託事業)

### 「こころの電話相談」のご案内

家族のための、電話相談受け付けます。

精神障がいのある家族を、家族だけで抱えていませんか?  
同じように悩み、いろいろなことを経験してきた家族が相談に応じます。

### 対象者

心の病(統合失調症、うつ病、発達障害など...)を持つ方のご家族

電話番号：080-4279-2970

相談日：毎週金曜日

相談時間：13時～16時

秘密は守ります。  
地域福祉情報も提供します。

### ☆はまゆう家族会 加入へのお願い

お申込先：はまゆうサポートセンター  
事務局：TEL 093-201-6151  
FAX 093-201-8151  
会費：3,000円(年会費)  
〒807-0046 遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11

### 【家族による家族学習会】

実施回	月日	時間
第4回	11月9日(土)	13:00~16:00
第5回	12月14日(土)	13:00~16:00

\*場所：はまゆうサポートセンター



秋月城址散策



門司レトロ散策



日帰りの旅で  
自然を満喫しよう!!

この外出訓練は月に1回の行事として実施しています。プライベートでは、なかなかお出かけの機会が少ないようで、人気の行事となっています。この2年間で訪れた場所は、南蔵院涅槃像、九州国立博物館、門司港レトロ、秋月城址、北九州市立美術館、伊藤伝右衛門邸、朝倉三連水車など日帰りで行けるところは大体網羅しました。三社参りで有名な各神社にもお参りし、宗像の鎮国寺はいろんな花の季節にたびたび出かけています。3年目に入り、日帰り旅行としては行く場所も定着化しつつあります。どこかおすすめの場所がありましたら教えてください。これからも利用者が、利用したいと思える施設であり続けるために、いろいろと工夫をしていきたいと考えています。

### 地域活動支援センターの外出訓練

名前は仰々しいですが、利用者の方と一緒に、名所旧跡や文化施設、さらにショッピングセンターなどを巡る日帰りの旅です。一応、利用者の皆さんの社会参加を支援するという意味合いで訓練という名称がついているようです。最初は、自衛隊の訓練をイメージしてしまい、なんじゃこりや!?!? と思ったものでした。

この外出訓練は月に1回の行事として実施しています。プライベートでは、なかなかお出かけの機会が少ないようで、人気の行事となっています。

この2年間で訪れた場所は、南蔵院涅槃像、九州国立博物館、門司港レトロ、秋月城址、北九州市立美術館、伊藤伝右衛門邸、朝倉三連水車など

日帰りで行けるところは大体網羅しました。三社参りで有名な各神社にもお参りし、宗像の鎮国寺はいろんな花の季節にたびたび出かけています。3年目に入り、日帰り旅行としては行く場所も定着化しつつあります。どこかおすすめの場所がありましたら教えてください。これからも利用者が、利用したいと思える施設であり続けるために、いろいろと工夫をしていきたいと考えています。



パネルディスカッション

### 第3回福精連大会が盛會裡に終わる

去る9月13日、ウエルとばたに於いて、第3回福精連大会が168名の参加者で盛大に開催されました。オフィス夢風舎代表の土屋徹氏の基調講演は、「自分の強みを活かすと強くなれる」をテーマにユーモア満載、終始笑いの絶えない中で、ポジティブな見方や考え方を学びました。

また、パネルディスカッションは、「リカバリーの旅路の伴走者」をテーマに西南女学院大学の今村教授をコーディネーターに迎え、医療の立場から「ちはやACTクリニック」の渡邊真里子医師、支援者の立場から「スマイル門司」の田原恭子さん、家族の立場からは、我が「はまゆう家族会」の平山計子さんがパネリストとして意見発表をされました。ここで平山さんの発表された要旨をご紹介します。

娘さんが会社でのいじめが原因でひきこもりになり、ほとんど寝たきり、昼夜逆転、親を攻める日々が長く続き、ご主人の難病と重なり、身も心も疲弊し病院を替わるたびに病名が違い、戸惑いとともに対応に苦慮していた時に家族会の存在を知り、初めて家族会に参加されました。

家族会の活動に参加して学ぶ中で、子供の心の叫びや心の痛みを知ろうとしない自分に気づき、特に高森信子さんの家族SSTを自身が実践され、親の関わり方が良くなると、娘さんも元の穏やかさ優しさが戻り、親への心遣いもできるようになられ、現在のはまゆうサポートセンターに通所されています。

平山さんご夫妻の、娘さんのリカバリーの旅路の伴走者としての実践に惜しみない拍手を贈り、これからも一歩また一歩と旅路を歩まれんことを!

### 多機能型施設の使い方

はまゆう福祉会は多機能型事業所(就労継続支援B型事業、就労移行支援事業、就労定着支援事業、自立訓練(生活訓練)事業、グループホーム、地域活動支援センター)を運営しています。多機能型事業所とは複数の事業(サービス)を一体的に行う事業所のことをいいます。今回は、多機能型事業所の使い方の一例をご紹介します。

#### ● 多機能型施設の使い方(一例)



すぐにじゃなくていいんだけど、就職して一人暮らしとかしてみたいなあ。でも、朝起きるのが苦手だし、人と交わるのも苦手。家事だってできないし、そもそも就職ってどうしたらできるんだろう?



そんなあなたにご提案!!

- ① まずは、朝起きて、夜寝るリズムを整えたい。
    - 自立訓練【生活訓練】を利用して、リズム作りを行ってみてはどうでしょう。家事や人と交わる練習もできます。
  - ② 朝起きるのは自信がついてきた。人と交わるのも慣れてきたかな。次は働く練習をしてみたい。お金も少し欲しいな。
    - 就労継続支援B型を利用して、働く練習をしてみよう。ちょっとしたおこづかいを得ることもできます。また、共同作業をすることで職場での人間関係の作り方を練習することもできます。
  - ③ 働く練習もやったけど、自分にはどんな仕事が合ってるんだろう。もう少し働いてことを知りたいな。
    - 就労移行支援を利用してもっと自分のことを知ってみよう。自分に合った仕事が見つかるかも。また、実際の職場に行ってみる機会もあるので、自分に合った働き方のイメージを膨らますこともできます。
  - ④ 働きだしたのはいいけど続くか不安だなあ。
    - 就労定着支援を活用してみよう。働き出して6ヶ月の間は、就労移行支援のスタッフが職場訪問や面談、必要に応じて企業との調整を行います。就労定着支援を利用することで、最長3年6ヶ月のフォローを受けることができます。
- ★ いかがでしたか?多機能型事業所は様々な使い方があります。興味がある方は是非一度見学してみてください。